

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 株式会社エフオン(旧会社名 株式会社ファーストエスコ) 上場取引所 東
 コード番号 9514 URL http://www.ef-on.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)島崎 知格
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)小池 久士 (TEL)03(5299)8521
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	4,520	56.1	964	65.6	879	65.7	1,046	119.0
28年6月期第2四半期	2,895	△17.6	582	△20.4	530	△20.5	478	△18.5

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期1,063百万円(117.3%) 28年6月期第2四半期 489百万円(△18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	59.81	59.15
28年6月期第2四半期	27.45	27.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	21,979	8,434	38.3
28年6月期	21,873	7,394	33.8

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 8,410百万円 28年6月期 7,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	46.3	2,000	53.8	1,900	62.1	1,800	△4.3	102.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年6月期2Q	17,619,156株	28年6月期	17,457,156株
② 期末自己株式数	— 株	28年6月期	— 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	17,504,509株	28年6月期2Q	17,416,792株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年2月16日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱問題、中国や新興国での景気減速傾向が見られるなど懸念事項がある一方、11月の米国大統領選後に新政権の政策への期待感が高まり、円安・株高が進行したことで、持ち直し基調となりました。

当業界においては、政府や関係各省庁の後押しを受け、再生可能エネルギーの認知度も高まってきており、なかでも安定した電力供給源となる木質バイオマス発電は太陽光に次いで急速に普及が進み、国内各地で大型設備の認定や稼働が相次いだことにより、再生可能エネルギーの中での買取電力量割合が1割を超えてきております。

このような状況のもと、当社グループの発電事業において、8月に商業運転を開始した大分県豊後大野市での新たな木質バイオマス発電所が高稼働率を維持したことにより、売上高、営業利益ともに大幅な増加となりました。これを踏まえ、期末時点での繰延税金資産を見直した結果、将来節税効果を有すると判断されたものについて積み増しを行ったことにより親会社株主に帰属する四半期純利益についても大幅な増加となりました。また、新たなバイオマス発電所計画として、栃木県壬生町での事業を現在推進中です。グループ全体では、4月に発足したエフオンブランドへの統一を進め、10月1日に当社商号を「株式会社エフオン」に変更し、新社名の下、グループ内の結束を強固なものとしております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,520百万円（前年同期比56.1%増）、営業利益964百万円（前年同期比65.6%増）、経常利益879百万円（前年同期比65.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は繰延税金資産の計上を行った結果1,046百万円（前年同期比119.0%増）となりました。

（省エネルギー支援サービス事業）

当第2四半期連結累計期間においては、外部売上高についてはほぼ横ばいとなりましたが、既存のオンサイト自家発電設備の軽微な故障の発生による補修費の発生などがあり、減益となりました。一方、連結子会社であるエフオン豊後大野の新たな木質バイオマス発電所の建設が終盤を迎え、内部売上高が前期と比較し大幅に減少したことで事業セグメント全体では減収となりました。

当第2四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高では1,761百万円（前年同期比57.6%減）、営業利益30百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

（グリーンエネルギー事業）

当第2四半期連結累計期間においては、8月に商業運転を開始したエフオン豊後大野の木質バイオマス発電所が順調に高稼働率を維持しております。既存のエフオン白河、エフオン日田の発電所においても11月の定期整備による停止期間以外は、トラブルなく順調に高稼働率を維持したことにより、売上高は前年と比較して大幅に増収となりました。また、営業利益についても売上高の増加に伴い増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高で3,776百万円（前年同期比73.0%増）、営業利益1,036百万円（前年同期比60.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、補助金の受け取りによる固定資産の圧縮による有形固定資産の減少などがありましたが、増収や新規借入金による現預金の増加、繰延税金資産の計上などにより前連結会計年度より105百万円増加し、21,979百万円となりました。

負債合計は、借入金や11月に発電所で行われた定期整備費用計上による未払金の増加などがありましたが、エフオン豊後大野での補助金受け取りによる流動負債の減少や、繰延消費税の減少、省エネ支援サービス事業の契約内容一部変更による長期未払金の減少などにより、前連結会計年度より934百万円減少し13,544百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などがあり、前連結会計年度より1,039百万円増加し8,434百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155	3,141
受取手形及び売掛金	633	1,007
原材料及び貯蔵品	313	287
繰延税金資産	323	360
その他	875	324
流動資産合計	4,300	5,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,024	5,431
減価償却累計額	△1,393	△1,451
建物及び構築物(純額)	1,630	3,979
機械装置及び運搬具	13,362	19,561
減価償却累計額	△9,770	△9,977
機械装置及び運搬具(純額)	3,592	9,584
工具、器具及び備品	107	111
減価償却累計額	△84	△79
工具、器具及び備品(純額)	22	32
土地	989	990
リース資産	1,168	1,130
減価償却累計額	△444	△492
リース資産(純額)	724	638
建設仮勘定	9,564	212
有形固定資産合計	16,523	15,437
無形固定資産		
電気供給施設利用権	96	160
その他	19	16
無形固定資産合計	116	177
投資その他の資産		
長期前払費用	10	10
長期預け金	128	133
繰延税金資産	761	1,013
その他	32	84
投資その他の資産合計	933	1,241
固定資産合計	17,573	16,856
資産合計	21,873	21,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	363	532
短期借入金	—	200
1年内返済予定の長期借入金	681	1,117
1年内償還予定の社債	64	64
未払金	520	643
1年内支払予定の長期未払金	606	537
リース債務	166	161
未払法人税等	125	111
賞与引当金	19	20
メンテナンス費用引当金	197	211
契約損失引当金	10	—
その他	1,434	247
流動負債合計	4,189	3,848
固定負債		
長期借入金	7,683	7,502
社債	136	104
長期未払金	1,622	1,351
長期前受金	26	14
リース債務	630	544
資産除去債務	19	19
契約損失引当金	6	—
金利スワップ負債	33	23
長期預り金	130	135
固定負債合計	10,288	9,696
負債合計	14,478	13,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,143
資本剰余金	1,118	1,143
利益剰余金	4,181	5,141
株主資本合計	7,419	8,428
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△33	△17
その他の包括利益累計額合計	△33	△17
新株予約権	9	24
純資産合計	7,394	8,434
負債純資産合計	21,873	21,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,895	4,520
売上原価	2,077	3,279
売上総利益	818	1,240
販売費及び一般管理費	235	276
営業利益	582	964
営業外収益		
受取利息	0	0
新株予約権戻入益	—	3
地役権設定益	4	—
その他	3	2
営業外収益合計	8	6
営業外費用		
支払利息	39	60
支払手数料	—	9
固定資産除却損	18	20
その他	2	1
営業外費用合計	60	92
経常利益	530	879
税金等調整前四半期純利益	530	879
法人税、住民税及び事業税	51	115
法人税等調整額	0	△282
法人税等合計	52	△167
四半期純利益	478	1,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	478	1,046

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	478	1,046
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	11	16
その他の包括利益合計	11	16
四半期包括利益	489	1,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489	1,063
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援 サービス事業	グリーンエネルギー 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	712	2,183	2,895	2,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,443	—	3,443	3,443
計	4,155	2,183	6,339	6,339
セグメント利益	39	647	686	686

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	686
未実現利益消去	△0
全社費用(注)	△103
四半期連結損益計算書の営業利益	582

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援 サービス事業	グリーンエネルギー 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	744	3,776	4,520	4,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,017	—	1,017	1,017
計	1,761	3,776	5,538	5,538
セグメント利益	30	1,036	1,066	1,066

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,066
未実現利益消去	△0
全社費用(注)	△101
四半期連結損益計算書の営業利益	964

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。